

## 1. 校長挨拶

## 2. 学校教育自己診断結果報告（校長）

- ① 生徒 肯定的評価が多く、大部分で数値が向上している。唯一、家庭学習の時間が十分ではない。
- ② 保護者 教育全般、生徒指導、保護者対応をはじめ、ほとんどの項目で高評価をいただいている。
- ③ 教員 教科指導、進路指導については、力を尽くした。学校行事や部活動については、まだ十分に生徒の力を伸ばせていないと感じている。

## 3. 平成31年度学校経営計画及び学校評価 説明（校長）

- ・交通安全指導に力を注ぎ、傘さし自転車はほぼゼロにすることができた。
- ・現在週32時間授業のカリキュラムを、新教育課程（15期生）から週30時間に変更する。  
その移行措置として、来年度入学の13期生の3年次、14期生の2、3年次も30時間に変更する。  
6限授業とすることにより、放課後に余裕をもたせ、講習補習・委員会活動・部活動の時間を確保する。

## 4. 令和2年度学校経営計画及び学校評価 説明（校長）

- ・学校教育自己診断の結果を受けて、各パートで検討を始めている。
- ・学習習慣の定着のため、図書室内に自習スペースの整備を予定している。

## 5. 質疑応答及び協議

- ① 生徒アンケートの学習時間を問う設問については、時間をもっと細かく刻む方がよい。「1時間未満」では幅がありすぎる
- ② 保護者アンケートの授業に関する項目で肯定的回答の割合が低い。家庭で話したくなるような授業になるように、もう一工夫が必要ではないか
- ③ 交通安全指導について、地域では、高校生による飛び出しや信号無視が話題になっている。
- ④ 文化祭や体育祭の評価が高いのは、生徒が主体的に取り組んでいるからではないか。授業においても、インプット型から、生徒が主体的に取り組むコーチング型への移行が必要ではないか。
- ⑤ 学校教育自己診断の分析において、クロス集計をするなどもっと詳細な分析が必要。  
家庭学習時間と他の項目との相関を分析してほしい。
- ⑥ 学校経営計画に「臯らしさ」がどこにあるのか  
進学理由として、単に近いからではなく「臯でなくてはダメ」な理由が欲しい。隠岐島の高校は、特色を前面に出して人気校になっている  
→ 今、臯が丘にいる生徒を大切に、それぞれの分野においてよりきめ細かい教育を行うことが、臯が丘の教育
- ⑦ 中学生にアピールするためには、パンフレットに工夫が必要ではないか。「こんな教育を行った結果、こんな生徒が育った」と示すため、卒業生のコメントを載せてはどうか。現行のパンフレットでは、目立つ場所に教育課程を載せているが、教育課程を読む中学生はあまりいないだろう。